

野球部が朝日新聞デジタルで紹介されました

7月6日(木)、朝日新聞デジタル(バーチャル高校野球)で、野球部が紹介されました。

朝日新聞デジタル > 今夏で廃部の危機 先輩の思い胸に思いっきり 新... > **写真・図版**



手紙の文案を練ったタブレットを手に笑顔を見せる小千谷のマネジャーの(左から)田村伊吹、佐藤奈々緒、番場唯=2023年7月3日、新潟県小千谷市、北沢祐生撮影

一つでも多く勝てるチームを目指して日々頑張っています。私たちと一緒にプレーしませんか——。

小千谷(小千谷市)では4月、中学で野球部だった新入生15人に宛てて勧誘の手紙を送った。3年生7人、2年生5人と心もとない選手数を増やしたい一心だった。

中心になったのは田村伊吹、佐藤奈々緒、番場唯の3年生マネジャー3人。タブレットで作成し印字した定型文に、選手たちと寄せ書きをした。

物心がついた頃からインターネットに親しんできたデジタルネイティブ世代。メールやSNSでのやり取りがほとんどで、「手紙なんて初めてかも」。そんな田村たちの思いは届き、手紙を出した8人を含む9人が入部した。

「大切に取ってくれていると思うよ」「ゴミ箱行きは悲しいよね」。手紙の感想も気になるところだが、何より「高校で野球を続けるきっかけになったならうれしい」と言う。チームにとっても「ポジション争いが起きるなどいい刺激になるかも」と期待する。

後を託すことになる1年生マネジャーも3人入った。最後の夏がいよいよやって来る。

「チームの色を存分に発揮して」と田村が言えば、「全力でやり抜いてほしい」と佐藤。番場は「チーム一丸で1勝を」。

3人一緒に最後の最後まで、声をからしてエールを送る。=敬称略(北沢祐生)

※ リンク先 <https://www.asahi.com/articles/ASR756WJMR74UOHB007.html>